

## 相模湾地震災害状況放送劇シナリオ 5

避難場所 鵜沼中学校体育館 震災当日 深夜

時間 二十四時〇〇分

気温 二度 晴

課題 普段はあまりコミュニケーションのない外国人と、避難所で同理解し合えるか。

状況設定

深夜になっても外国人が大声で話していて眠れないと言う苦情が出た。地震の経験がないため、おびえている様子。

### 【ストーリー】

登場人物

藤沢市子（ふじさわ いちこ） 高校生・愛称チイーちゃん

中島 町内会会長で避難所リーダー

佐藤 藤沢市職員（避難所担当）

岡田 民生委員

大庭 町内会役員で総務情報班

石川（女） 町内会役員で衛生救護班

避難者

女 A 赤ん坊と避難してきている若い坊母親

【市子のモノログ】

地震発生からだいぶ時間がたったけど、時々強い余震があったりして子供たちは怯えているし、まだ興奮して声高に話し合っている人たちもいるけど、これからのことを考えると心配なのか、口数も少なくなり、疲れて寝ている人もいる。落ち着いているように見えるけど、避難所の人たちの不安や緊張は隠せない。

モノログのバックには発電機の音、時々小さく聞こえるサイレンの音  
何人かの役員と市の職員が打ち合わせをしているところへ、若い母親が苦情を言ってくる。

避難者女A

外国人の話し声が大きくて、赤ちゃんが眠れないのです。リ

ーダーか市の方から注意してください。お願いします。

町内会長中島

どこの国の人です。

避難者女A

国籍もわからないし、言葉も理解できないんです。

町内会長中島

大庭さんは情報班だろ、何とかしてくれよ。

情報班大庭

英語なら出来る人がいるかもしれない。しゃべっているニュ

アンスでどこの国の人か判断できるんじゃないか。

避難者女A

英語じゃないみたい。凄く興奮しているんです。

情報班大庭

救護班なら落ち着かせることが出来るんじゃないか。石川さ

ん、どうだい。

救護班石川

救護班に言われても困ります、少ししたら静かになるんじゃないですか。

ないですか。

避難者女A

手話が出来る人いないんですか。

救護班石川

その外国人の人、手話が分かるの？

避難者女A

そんな事分かりません。パニックになってるんです、周りの

人もどうしていいか分からなくて。

情報班大庭

それじゃ、なおさら落ち着かせなきゃだめだ。

町内会長中島

私たちでは無理だね、専門家が必要だ。

避難者女A

誰が責任者なんですか！行政の方ハッキリしてもらえませんか。

か。

行政職員佐藤

基本的には、避難所の総括責任者に任せます。

町内会長中島

何でも責任者まかせか。じゃあ、通訳の手配を行政にお願

いしたいね。

行政職員佐藤

通訳の斡旋はしますよ。教育委員会に外国人留学生のお世話をしている人達がいるので、外国語が達者な人達を避難所まで派遣してもらうことは可能ですよ。

町内会長中島

でも、今すぐは無理でしょう。

避難者女A

今ここで起きてることなんですよ、何とかしてください。

民生委員岡田

町内に外国人の方が住んでいることは確認しています。が……。きつと地震で怖い目に遭った上に言葉がわからなくて不安なんですよ。言葉は通じなくても、おびえている人の気持ちには聞いてあげたい。場合によっては別の部屋を用意してもらえませんか。

町内会長中島

ここは大勢いるから少しは暖かいけど、他は寒いよ。

情報班大庭

暖房器具がないからな。でも、場所は用意できるよ。

町内会役員石川

外国人の人たちだけのグループを作って、別室にするとか。

避難者女A

うるさいから別の部屋に移すなんて問題ですよ、

町内会長中島

通訳が手配できるまで仕方がないだろう。

避難者女A

外国人として差別するのはよくないと思います。わがままな日本人の偏見です。何らかの形でコミュニケーションが取れるよう考えて下さい。

民生委員岡田

確かに部屋を別にするのは問題がありますね、この場所に段ボールなどで囲ったらどうです。不安で落ち着かなければ、状況を見て薬を出すことも考えたいですね。救護班にはそういう薬がありませんか？

救護班石川

精神安定剤みたいな薬はないですね。

町内会長中島

外国人担当班を設けなきゃいけないのか。

民生委員岡田

私としては、相手に対して気にかけていることを示し、言葉の通じない人にも、身振り手振りで伝えればわかってもらえると思うので、ジェスチャーで会話を試みます。少しでも相談に乗ってあげたいんです。

情報班石川

ボディランゲージでも、あんがい通じるかもしれないわね。

情報班大庭

紙に絵を描いて見せても良いかも。

行政職員佐藤

それよりも、その外国人が何語を話すのか聞いて、避難者の中に話せる人がいるか探しましょう。(館内に向かって呼びかける) 皆さん！聞いてください！この中に外国語が出来る方がいたらお集まりください。お願いします！

町内会長中島

私がこの責任者だってことを確認させて、静かにするよ。う何とかやってみるよ。夜の十二時なので、とりあえず静かにし

てもらっただけなら、ボデイランゲージで大丈夫だろう。

避難者女A

会長さん、お願いします。

行政職員佐藤

私も行きますよ。

町内会長中島

落ち着いてもらうために、水や乾パンを差し入れしましょう。食料班にいつて用意します。

行政職員佐藤

それは良い考えだ、喜びますよ。

情報班石川

足りなきゃ避難所に来るときに持参した水と食料の内、分けられる分は提供してもいいですよ。

町内会役員大庭

私も避難する時持ってきた物資の一部をお渡ししますよ。

町内会長中島

リーダーばかりに頼らずに、出来る人がやってくればいいんだよ。しかし言葉の通じないのが一番の難点だ。こういう時のために、町内会の中に外国語の堪能な人がいないか、外国人が経営しているお店とかを把握しておけば多少は役に立つだろうけど・・・。いまさらいつても始まらないか。

行政職員佐藤

そうですね。それと、電子辞書で会話する手もあるな。ともかく、明日になったら通訳の手配をしますよ。ああ、もう十二時回っているから今日になるのか。

町内会長中島

マニュアルに無い事ばかりおきるもんだね。

行政職員佐藤

想定外の事への対応は、会長の英断で解決する、ですね。

町内会長中島

よくいうよ。

二人、外国人の所へ歩いてゆく

### 【市子のモノローグ】

確かに、これだけ大勢の人が集まると、何もかもマニュアルどおりには行かないものね、誰だってこんな災害に遭えば、パニックになって当然だわ。まして知らない国で言葉が通じなくて、もし自分がその立場になったら、って考えみると・・・。やっぱり、スキンシップかな。相手を思いやる気遣いさえあれば分かってもらえると思う。

発電機の音が静かな曲に変わってゆく。

地域発防災ラジオドラマ  
現状とドラマ（フィクション）との相違点

- 二〇〇九年現在、藤沢市には市内の公立学校等を中心に八十一か所の施設が避難所として指定されています。一定の規模以上の災害が発生すると各避難所にはあらかじめ担当が決められた市職員（複数名）が駆けつけ、避難所開設の準備をはじめます。このドラマでは停電して暗い中、あえて担当者が駆けつけられない（何らかの事情が発生した）と想定して、避難所担当職員がいない中で住民だけでどうするかを協議するシーンを作りました。
- 市内の公立学校については、おおむね耐震性が確保されている状況にありません。鵜沼中学校も耐震補強が完了してはいますが、いくら耐震補強があっても、施設に入る前には安全性を確認する何らかの行動があり、かつそこには地域の協働関係が象徴されると考えて、あえて議論されるシーンを作りました。なお、藤沢市の避難施設マニュアルには簡便な安全性チェックシートも用意されています。実際のシナリオワークショップでは、建物に少しでも不安があるときは、校庭で待機するほうがよいという意見が出たグループもありました。
- ドラマではわずかなシーンですが、ペットと離れられないと主張する住民と、避難所の関係者のやり取りが描かれています。ほとんどの避難所運営マニュアルではペットの持ち込みは原則禁止となっています。アレルギーがある人や動物が苦手な人がいる現状にかんがみて、避難所内にペットを自由に持ち込める状況にするのは難しいと思いますが、地域で何らかの工夫が出来ないか、事前に検討しておくことは可能だと思えます。柏崎市ではペットと離れたくないという住民のために、避難所となった学校の駐車場に停めた車の中に入れたという事例もあるようです。藤沢市ではペットを専門に扱う事業者との協定を結んでいるところもあります。
- ドラマでは避難所運営組織の各役割が決まっているので、組織は順調に動いている形に描かれています。実際にはこの舞台となった鵜沼中学校地区の避難所運営体制の組織化は、まだ緒についたばかりでドラマ制作時点では個人々に役割があらかじめ決められているわけではありませんでした。鵜沼中学校地区防災連絡協議会では平成二十二年三月に避難所設営訓練を実施し、実際の場面になったら現場でどのような課題が生じるかを、実際に体を動かして検証・確認することが決定しています。

● 災害時の公的支援を効率的に行うためにも、避難所の実情をその都度、市の対策本部に送り、状況認識を共有化しておくことは重要です。誰がどこにいるかがわかれば、被災地外からの連絡や安否確認の際には大変都合がよいといえます。しかし最近の個人情報がらみのトラブルにかんがみて、住民の中には本当のことを書きたがらない人が出てくるかもしれないと考えてこの課題を設定しました。町内会・自治会で名簿が作成されていない（作成が難しい）地域が増えていくようです。藤沢市の避難施設運営マニュアルには書式が定められていますが、そこに項目があるからすべて埋めると考えずに、それぞれの項目がなぜ必要かを住民自身で考え、判断することが重要であると考えられます。

● 鵜沼中学校地区ではいわゆる戸建て住宅からなる町内会・自治会だけではなく、一部のマンションの管理組合からなる自治組織が参加した形で防災連絡協議会を構成しています。防災連絡協議会に加入している自治会、管理組合の関係者間の合意形成には問題がないと思われませんが、地域のすべての共同住宅の居住者が参加しているわけではありません。したがってここで議論されたようにマンションによってはほとんど交流がないところも存在しています。

● 藤沢市では地域内住民を主体として、災害時のボランティア活動を支援するための組織藤沢災害救援ボランティアネットワーク（FSV）が活動しています。ここで取り上げたような課題の解決のためにも地元で活動するボランティアコーディネーターとしての役割が期待されます。